

授 業 科 目 名	家庭支援論	教 員 名	木村 匡登	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独		保育士	必修
科 目 番 号	TAI401	配当年次	4年次後期	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
単 位 数	2単位				小幼コース	選択
科 目						
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
一 般 目 標	<p>家族を支えていた親族や地域の関係基盤が希薄になった現在、その代替機能を果たすことが保育所に求められるようになった。そこで、家庭生活を取り巻く社会状況をふまえ、保育士に求められる家庭支援の意義や役割、子育て家庭への支援体制と関係機関との連携のあり方について理解する。</p> <p>(1)家庭支援の意義と役割 家庭支援についての意義と役割について理解する。</p> <p>(2)家庭生活を取り巻く社会的状況 現代の家庭生活を取り巻く社会的状況について理解を深める。</p> <p>(3)子育て家庭への支援体制と関係機関との連携 子育て家庭への多様な支援施策を理解し、その展開と関係機関との連携について理解を深める。</p>					
到 達 目 標	<p>(1)家庭支援の意義と役割</p> <p>1)現代における多様な家庭の現状を理解する。</p> <p>2)家庭支援のための施策を理解する。</p> <p>3)保育士が行う家庭支援の原理と役割を理解する。</p> <p>(2)家庭生活を取り巻く社会的状況</p> <p>1)家族と人間関係について理解を深める。</p> <p>2)地域社会の変容と家庭支援について理解を深める。</p> <p>3)男女共同参画社会とワークライフバランスについて理解を深める。</p> <p>(3)子育て家庭への支援体制と関係機関との連携</p> <p>1)子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進を理解する。</p> <p>2)多様な支援の展開と関係機関との連携について理解する。</p>					
授 業 の 概 要	<p>家庭の意義とその機能をふまえ、現在の子育て家庭を取り巻く社会的状況等を理解する。そして、家庭支援の意義や理念、支援体制を学び、保育士として求められる家庭支援の実践力を身に付ける。また、家庭の子育て力を引き出すために、関係機関や地域資源との連携の方策を探る。</p> <p>アクティブラーニングとして、振り返り、グループディスカッション、グループレポート、個人レポートなどを取り入れる。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授 業 計 画	<p>第1回：講義概要の説明（本講義の主旨および講義計画について） ワークショップ「現代社会における子育て家庭の課題とは何か」（目標(1)-1）</p> <p>第2回：家庭支援の意義と役割Ⅰ（目標(1)-1） （1）家と家族 家庭支援の前提となる現代社会における「家と家族」の現状を把握する。</p> <p>第3回：家庭支援の意義と役割Ⅱ（目標(1)-2） （2）家庭支援のための施策 家庭支援の全体像－母子保健、保育サービスや子育て支援、経済的支援、家庭教育支援、親のつながりや仲間づくり支援－について理解を深める。</p>					

第4回：家庭支援の意義と役割Ⅲ（目標(1)-3）

（3）保育士等が行う家庭支援の原理

保育指針、教育並びに保育要領における子育て支援を踏まえ、保育所に入所している子どもの保護者に対する支援、地域における子育て支援など、家庭支援における保育士の役割について学ぶ。

第5回：家庭生活を取り巻く社会的状況Ⅰ（目標(2)-1）

（1）現代の家族と人間関係について

少子化と家族の変容、若い世代の結婚観、若者を取り囲む社会経済の変容、夫婦と子ども家族機能の弱体化による養育困難、孤立の子育て、子どもの育ちの問題と自身を喪失する親たちなど、子育て家庭の課題を踏まえ、子育て家庭への支援の必要性和目指すべき姿についての理解を深める。

第6回：家庭生活を取り巻く社会的状況Ⅱ（目標(2)-2）

（2）地域社会の変容と家庭支援

現代社会における家庭を取り巻く地域と社会の変容をふまえ、地域子育て支援の意義と仕組みと保育所における地域子育て支援事業についての理解を深める。

第7回：家庭生活を取り巻く社会的状況Ⅲ（目標(2)-3）

（3）男女共同参画社会とワークライフバランス

性別役割分業がもたらす日本社会における男女格差の現状をとらえ、男女共同参画社会に向けた法整備、ならびにワークライフバランスの推進について理解を深める。

第8回：子育て家庭の支援体制Ⅰ（目標(3)-1）

（1）子育て家庭の福祉と社会資源

子育て支援と法体系として、憲法、児童福祉六法を始め、それ以外の主な関連法律、また、人々の生活上のニーズを充たすために活用できる子育て支援の社会資源についても理解を深める。

第9回：子育て家庭の支援体制Ⅱ（目標(3)-2）

（2）子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進

子ども・子育て支援法をふまえ、子ども・子育て支援新制度、新たな少子化社会対策大綱、そして、子どもの貧困対策について理解を深める。

第10回：多様な支援の展開と関係機関との連携Ⅰ（目標(3)-2）

（1）保育所の家庭への支援の実際

保育所の入所児童の家庭への支援の実際について、また関係機関との連携について、事例をもとに理解を深める。

第11回：多様な支援の展開と関係機関との連携Ⅱ（目標(3)-2）

（2）園の家庭への支援の実際

幼稚園・認定こども園の入園児童の家庭への支援の実際について、また関係機関との連携について、事例をもとに理解を深める。

第12回：多様な支援の展開と関係機関との連携Ⅲ（目標(3)-2）

（3）地域の子育て家庭への支援の実際

保育所、幼稚園、認定こども園における子育て支援、並びに地域子育て支援センターなどでの地域の子育て家庭への支援の実際について、また関係機関との連携について、事例をもとに理解を深める。

第13回：多様な支援の展開と関係機関との連携Ⅳ（目標(3)-2）

（4）要保護児童並びにその家庭に対する支援の実際

保育所、幼稚園、認定こども園、並びに地域子育て支援センターなどでの地域の子育て家庭への支援の実際における要保護児童並びにその家庭に対する子育て支援の実際について、また関係機関との連携について、事例をもとに理解を深める。

第14回：多様な支援の展開と関係機関との連携Ⅴ（目標(3)-2）

（5）多様な支援の展開と関係機関との連携のあり方の考察

	<p>入園児童の家庭への支援、地域の子育て家庭への支援、要保護児童並びにその家庭に対する支援の実際の事例について、考察を行う。</p> <p>第15回：全体のまとめ 定期試験</p>
学生に対する評価	<p>レポート提出20%、発表20%、定期試験60%</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回講義の最後に、次回の講義内容のテキスト箇所を伝えるので、入念に予習しておくこと。また、不明な点等は調べておくこと。</li> <li>・講義を受けて、レポート課題があるときは、必ず次回の授業で提出すること。</li> <li>・講義で使った資料やノートのファイル管理を徹底すること。</li> <li>・講義で使用したテキスト箇所を必ず復習しておくこと。</li> </ul>
テキスト	井村圭壮・今井慶宗編『保育と子ども家庭支援論』勁草書房 2020年
参考書・参考資料等	<p>公益財団法人 児童育成協会 監修『新基本保育シリーズ5 子ども家庭支援論』中央法規 2019年</p> <p>文部科学省『幼稚園教育要領〈平成29年告示〉』</p> <p>厚生労働省『保育所保育指針〈平成29年告示〉』</p> <p>内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈平成29年告示〉』</p>
担当者からのメッセージ	自学自習、ディスカッション、発表など積極的なアクティブラーニングに取り組むこと。
オフィスアワー	<p>毎学期オフィスアワーの時間帯を紹介する。(毎週○曜日 ○○:○○～○○:○○)</p> <p>その他の日時はメール等でアポイントを取って来室すること。</p>